

GMB 株式会社

2017年3月期決算説明会資料

2017年5月25日（大阪）・26日（東京）



（電動ウォーターポンプ）

証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



. 2017年3月期実績

. 2018年3月期計画

. 今後の対応

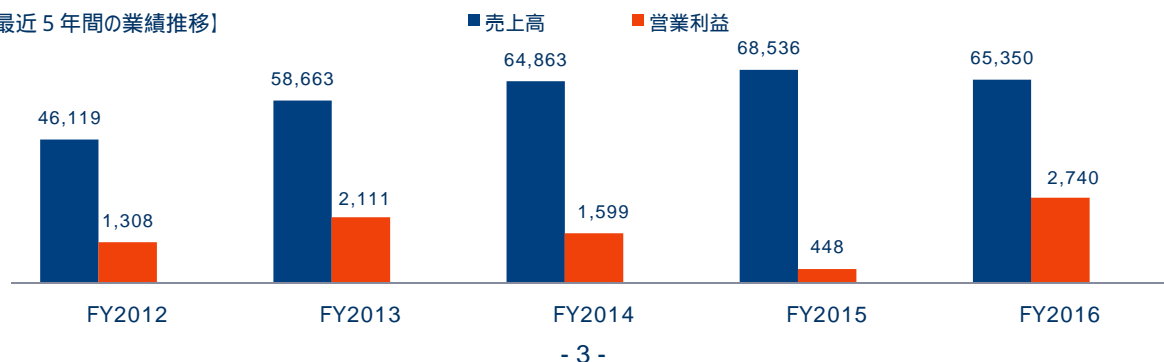
2017年3月期 損益実績



(単位：百万円・%)

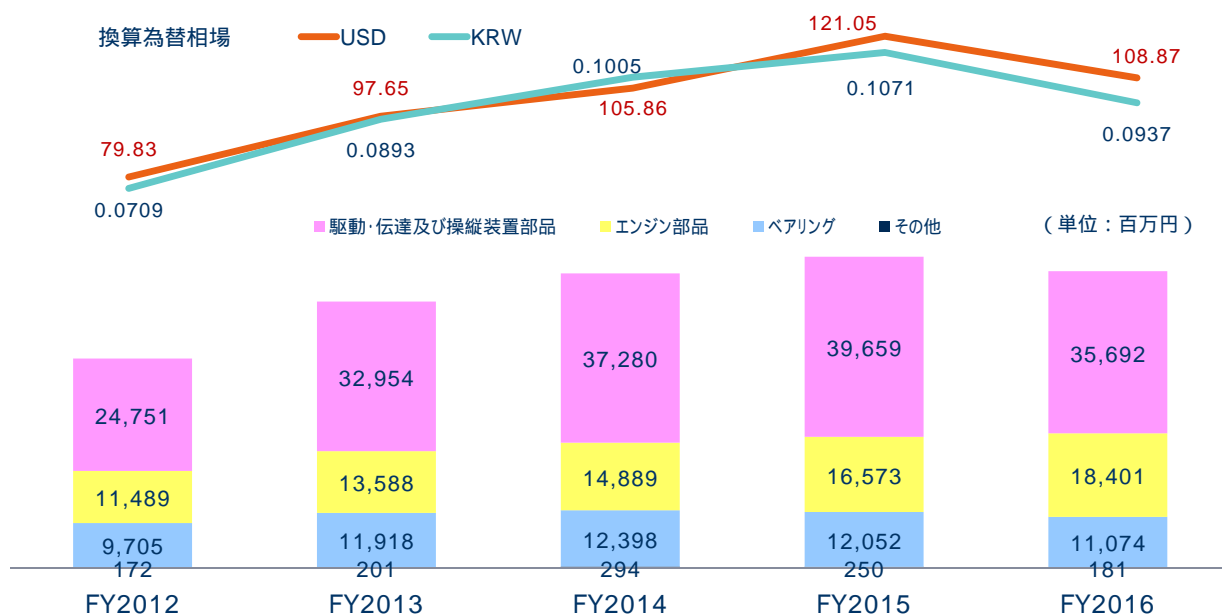
	前期		当期		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	68,536	(100.0%)	65,350	(100.0%)	3,185	4.6
売上総利益	10,290	(15.0%)	11,460	(17.5%)	1,170	+11.4
営業利益	448	(0.7%)	2,740	(4.2%)	2,291	+511.4
経常利益	17	(0.0%)	2,546	(3.9%)	2,564	-
純利益	1,697	(2.5%)	1,444	(2.2%)	3,142	-
EPS(円)	325.72		277.28			

[最近5年間の業績推移]



- 3 -

売上高の品目分類別実績推移



駆動系は韓国での新車用バルブスプールや東南アジアなど海外補修用ユニバーサルジョイントが減少。エンジン部品は、北米の補修用に加え、電動ウォーターポンプやルーマニア新工場の量産化により増加。ベアリングでは、海外補修用市場で主力のテンショナー・アイドル・ベアリングの販売減少が続く。

- 4 -

セグメント実績推移

日本・米国

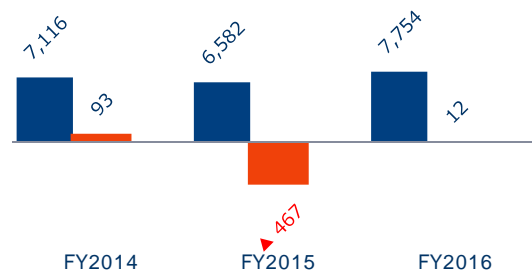
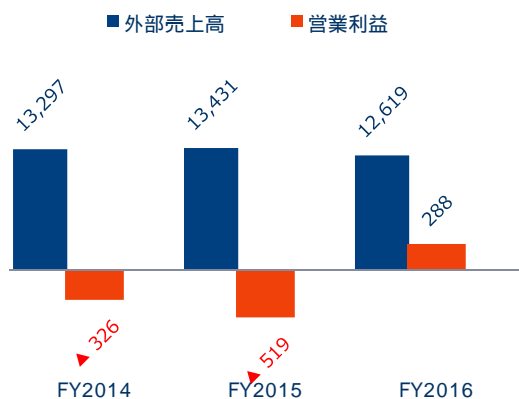


セグメントはグループ各社の所在地による

(単位：百万円)

日本

米国



海外補修用部品の輸出を中心に売上は減少したものの、不採算取引の見直しや前半の円高による輸入コストの減少、固定費削減努力などにより大幅に収益改善し、黒字転化。

補修用ウォーターポンプは大口案件が年間通じて寄与し売上増加。前期のような一時的な経費増加もなく、売上増加とコスト削減により黒字転化。

セグメント実績推移

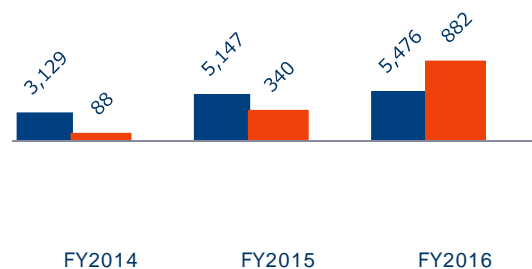
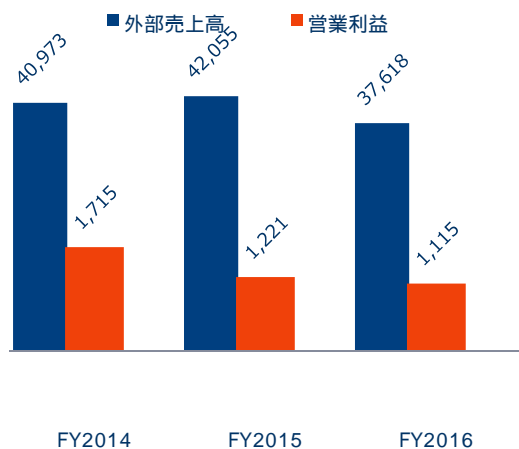
韓国・中国



(単位：百万円)

韓国

中国



夏場の落ち込みなどで新車用のバルブスプールの販売が減少するも等速ジョイントや電動ウォーターポンプの新規案件等でカバーし、ウォンベースでは微減。さらに人件費や減価償却費など固定費増加を、コスト削減努力で吸収するも減益。

計画より遅れながらも新設工場の量産化により売上増加。既存工場も、前期から進めた現地生産切替による収益改善策が通年で利益貢献し、また元安による輸出採算の改善や材料価格の値下がりなどの外部環境も好影響し、大幅な増益。

セグメント実績推移

タイ・欧州

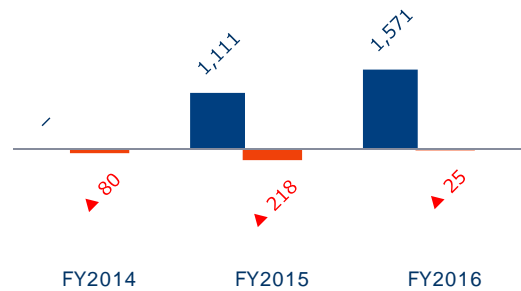
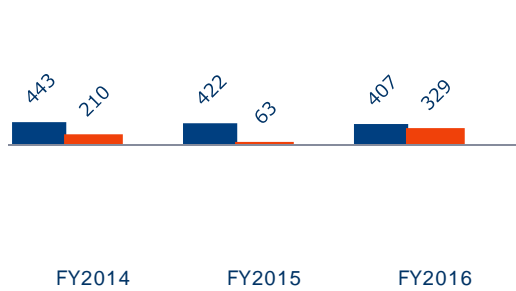


(単位：百万円)

タイ

欧州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



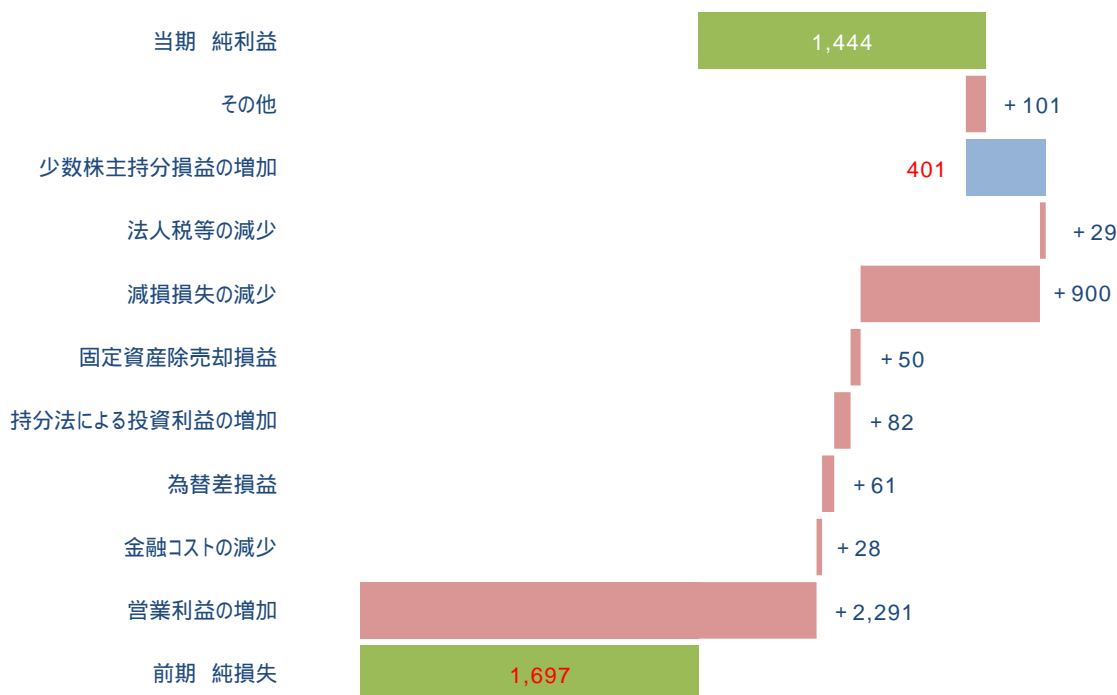
メインの補修用ウォーターポンプのグループ会社向け生産が減少する中、タイ国内向けを中心とした外部売上は横這いで推移。日本本社向け円建輸出取引において円高パーツ安による輸出採算の改善もあり増益。

ルーマニア新工場ではウォーターポンプの量産本格化と部品の現地調達を進め、黒字化の目途。ロシア新工場は引き続き生産活動を限定し、景気と為替の悪影響を最小限に留める。

営業利益以下の増減要因（通期）



(単位：百万円)

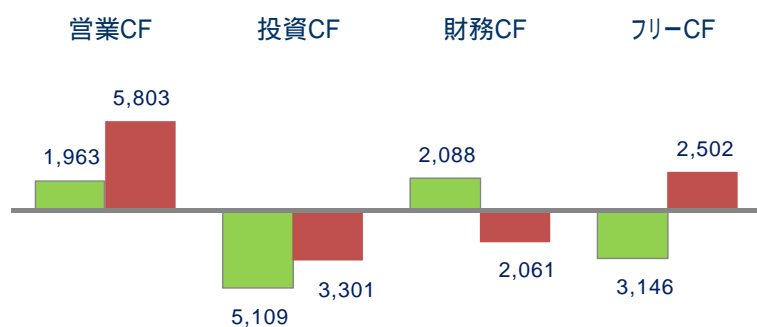


キャッシュ・フローの実績



(単位：百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	1,963	5,803	+ 3,840
投資活動によるキャッシュフロー	5,109	3,301	+ 1,808
財務活動によるキャッシュフロー	2,088	2,061	4,150
フリーキャッシュフロー	3,146	2,502	+ 5,648



[当期の主な内訳]

営業CF	
税金等調整前利益	2,573 百万円
減価償却費	3,566
売上債権の増加	275
たな卸資産の増加	304
仕入債務の増加	969
法人税の支払額	548
投資CF	
設備投資	3,286
固定資産売却	432
財務CF	
借入金の減少	1,769
配当金の支払額	206

- 9 -



. 2017年3月期実績

. 2018年3月期計画

. 今後の対応

- 10 -

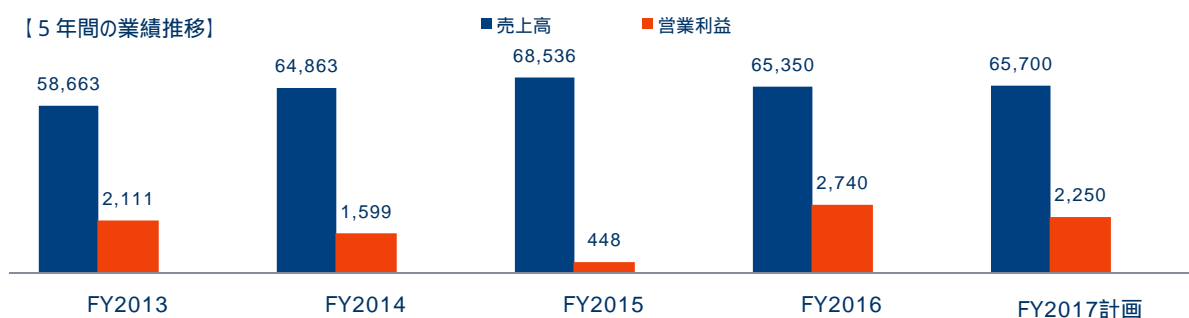
2018年3月期 損益計画



(単位:百万円・%)

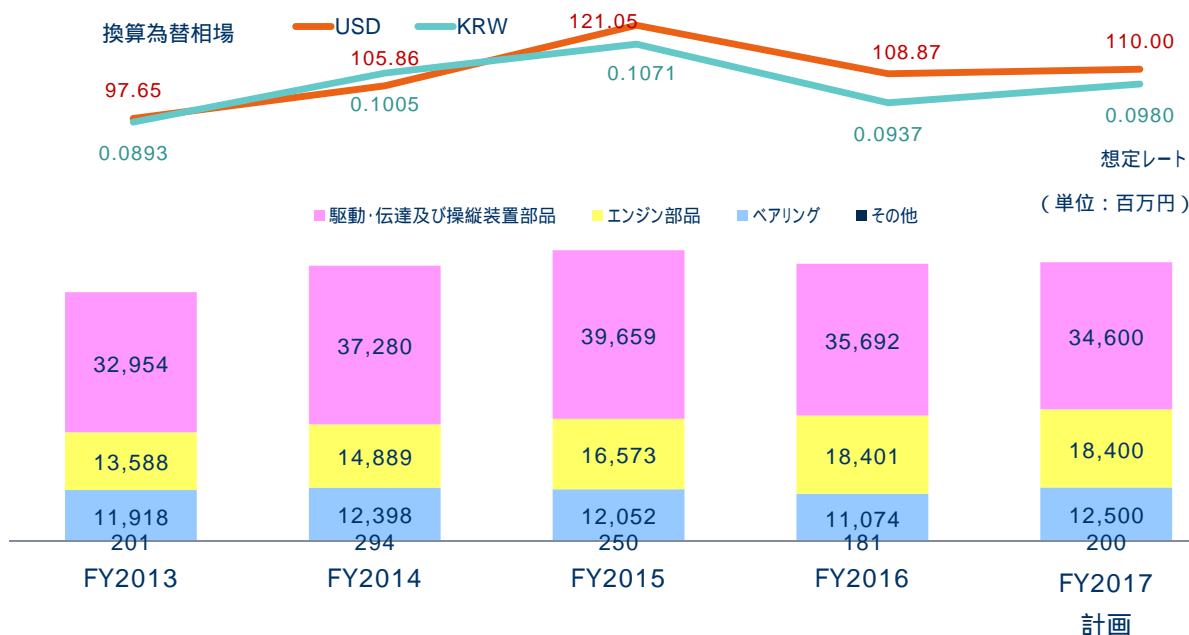
	当期実績		来期計画		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	65,350	(100.0%)	65,700	(100.0%)	350	+0.5
営業利益	2,740	(4.2%)	2,250	(3.4%)	490	17.9
経常利益	2,546	(3.9%)	1,700	(2.6%)	846	33.2
純利益	1,444	(2.2%)	900	(1.4%)	544	37.7
EPS(円)	277.28		172.70			

【5年間の業績推移】



- 11 -

売上高の品目分類別計画



駆動系は韓国・中国での新車用部品の減少を見込む。エンジン部品は、海外補修用のウォーターポンプの減少に対して、韓国での新車用の電動ウォーターポンプの増加で横這い。ベアリングでは、海外補修用市場でのベアリング関連製品の品揃え強化と拡販による増加を計画。

- 12 -

セグメント計画 日本・米国



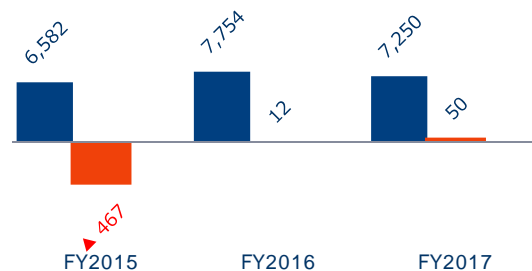
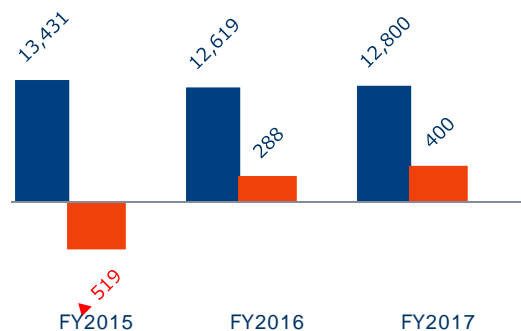
セグメントはグループ各社の所在地による

(単位：百万円)

日本

米国

■ 外部売上高 ■ 営業利益



売上高は海外補修用の若干の回復を見込む。不採算取引の見直し、調達コスト削減、本社工場の固定費削減などの収益対策効果が通年で寄与することで、増益を計画。

売上高はウォーターポンプを中心に前期末からの反動減を見込む。調達コストや管理費用の削減によりわずかながら増益を計画。

セグメント計画 韓国・中国

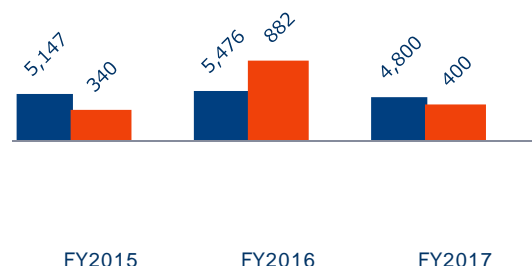
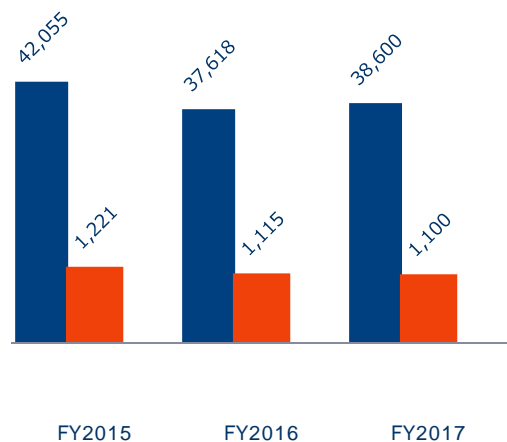


(単位：百万円)

韓国

中国

■ 外部売上高 ■ 営業利益



換算為替相場の影響を除けば、主要取引先の韓国・中国の新車販売動向により主要製品において売上高の減少を見込む。加えて人件費・償却費などの固定費増加に対して、コストダウン努力で吸収し利益横這いを見込む。

主要取引先の中国国内の新車販売動向により売上減少を見込む。販売減少に加え、人件費などの固定費の増加もあり、減益計画。

セグメント計画 タイ・欧州

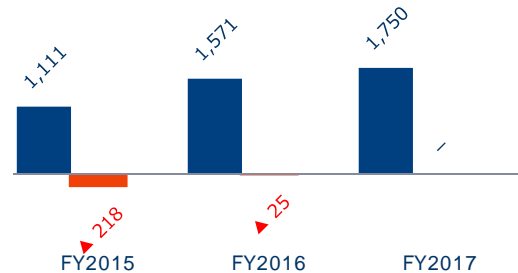
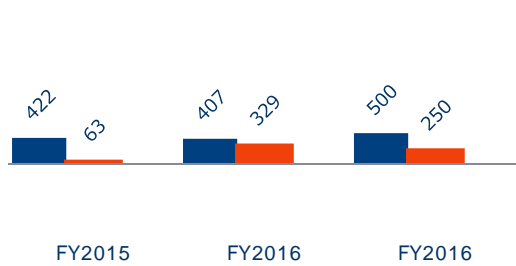


(単位：百万円)

タイ

欧州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



タイ国内の新車用・補修用部品の販売増加を計画。利益面ではメインの日本本社との取引について円安パーツ高による輸出採算の悪化を見込む。

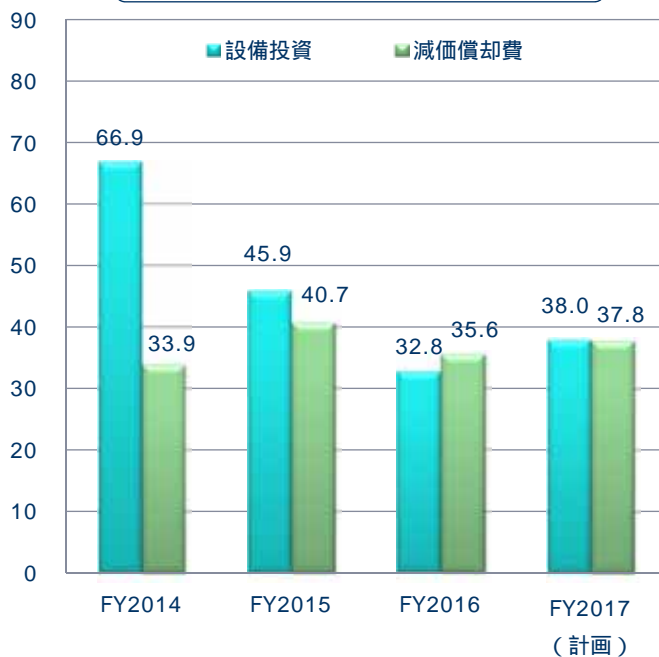
ルーマニア工場ではウォーターポンプの増産と部品の現地調達を進め、採算改善を計画。ロシア工場は納入拡大があるものの、引き続き生産活動を限定し、外部環境の悪影響を最小限に留める。

設備投資・減価償却費



(単位：億円)

設備投資・減価償却費の推移



FY2017 設備投資計画の内訳

	投資額	主な内容
日本	5.0	維持・合理化
韓国	20.5	新規開発・更新 等
中国	9.0	増産・合理化
タイ	1.5	合理化
欧州	2.0	増産
計	38.0	

. 2017年3月期実績

. 2018年3月期計画

. 今後の対応

- 17 -

今後の対応

次の成長の柱を育成

	内燃機関(Gasoline, Diesel)	Hybrid, Plug in Hybrid	EV, FCEV
車両			

機械部品・精密加工部品

電動化



Spool Valve



Tripod Joint



Universal Joint



Water Pump

研究開発領域



- 電動ウォーターポンプ
- モーター関連製品
- 制御装置

グローバル営業強化

欧州

- ルーマニア工場の増強
- 営業人員拡充



北米

- 大手顧客への納入本格化
- 生産拠点進出の検討



中国

- A T 部品の拡販
- 電動化対応強化



- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>
GMB株式会社 経営管理室
電話 : 0745-44-1912
Email : ir@gmb.jp

GMB 株式会社

事業内容説明資料 (2017年3月期)

(証券コード : 7214)

<http://www.gmb.jp/>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



目 次

	ページ
GMBの概要	2
GMBの主要取扱製品	4
生産・販売ともにグローバルに展開	5
GMBの特徴	8



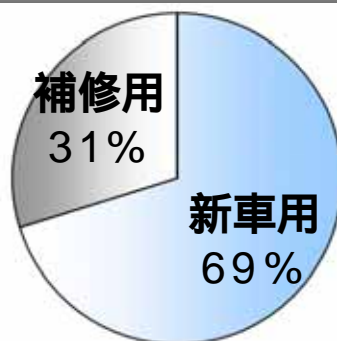
GMBグループの概要

商号	: GMB株式会社	売上高	: 65,350 百万円 (単体 14,606 百万円)
創業	: 1943年(昭和18年)	営業利益	: 2,740 百万円 (単体 141 百万円)
代表取締役会長	: 松岡 信夫	総資産	: 62,856 百万円 (単体 20,448 百万円)
代表取締役社長	: 阪口 有一	純資産	: 28,090 百万円 (単体 12,078 百万円)
所在地	: 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3		
事業内容	: ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売		
グループ会社	: 11社 / 韓国 (5工場)、米国 (2拠点)、中国 (3工場・1拠点)、タイ (2工場)、ロシア、ルーマニア		
従業員	: 2,714名 (単体 349名)		

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



GMBグループの概要



GMBの主要取扱製品

駆動・伝達・操縦装置用部品：売上構成比 55%

⊕ユニバーサルジョイント

⊕等速ジョイント



⊕バルブスプール

⊕サスペンション部品



注) 構成比は
2017/3月期

エンジン部品：売上構成比 28%

⊕ファンクラッチ

⊕ウォーターポンプ

⊕電動ウォーターポンプ



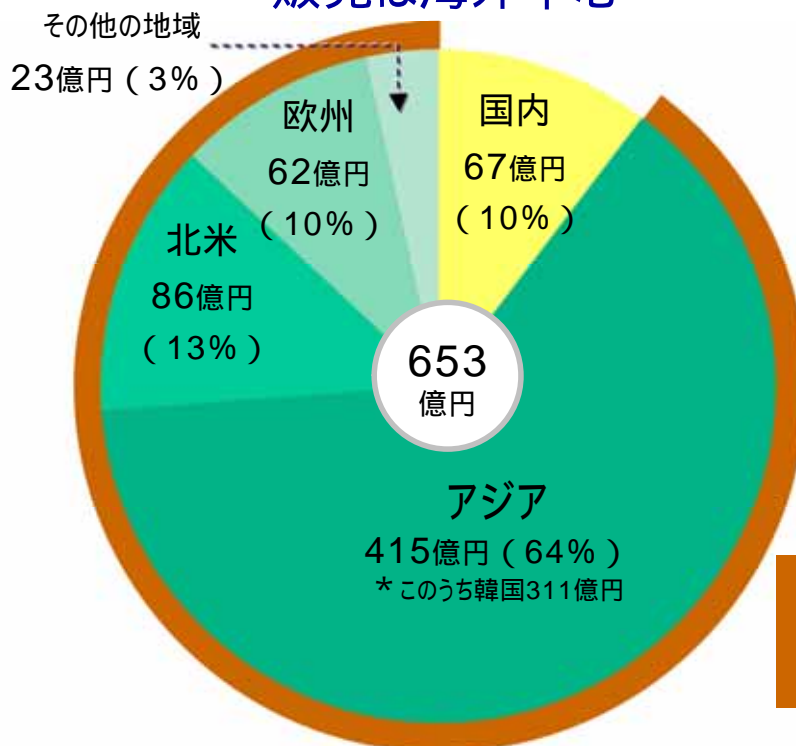
ベアリング他：売上構成比 17%

⊕テンショナー&アイドラー・産業用



生産・販売ともにグローバルに展開

販売は海外中心



海外売上高

90%

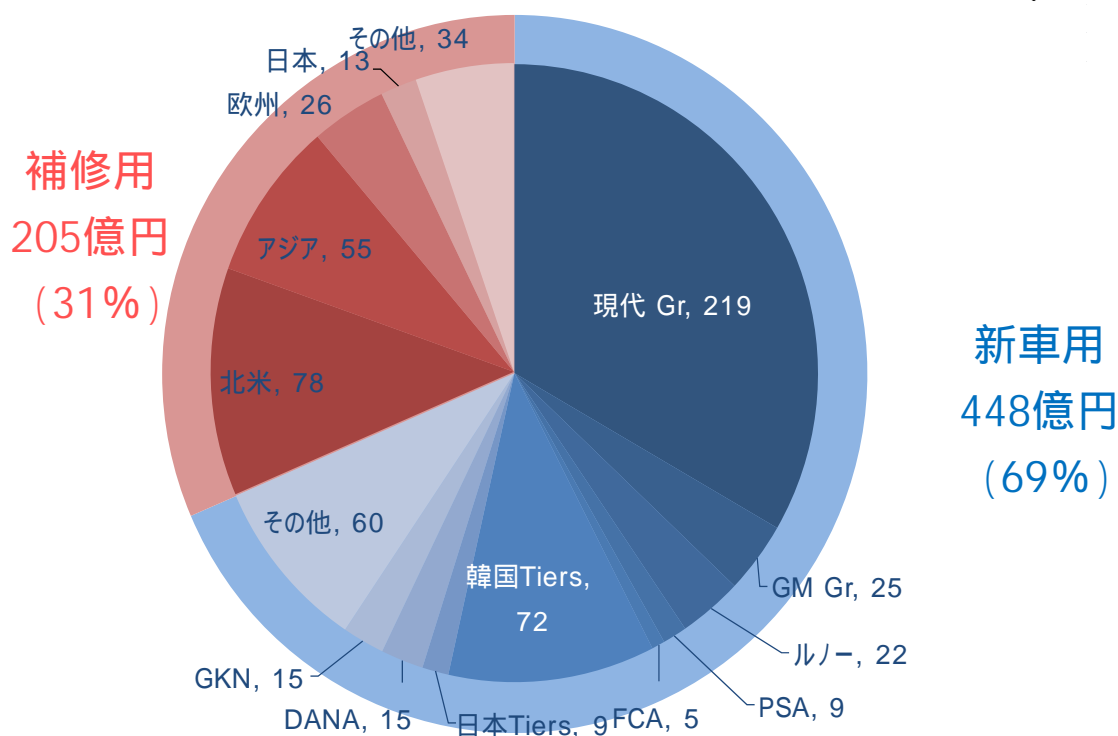
(注) 2017/3期連結ベース、括弧内は構成比



生産・販売ともにグローバルに展開

OE M相手先 & 補修用地域別売上構成

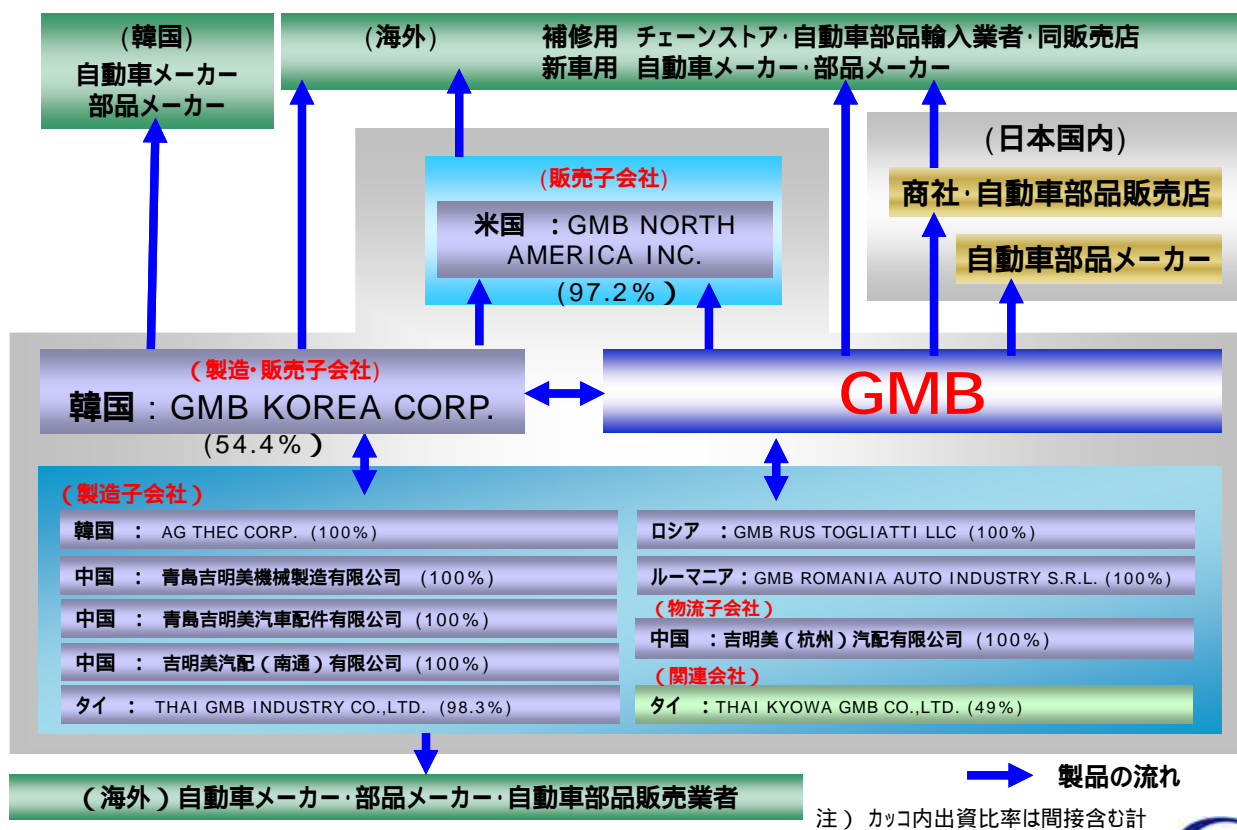
(単位：億円)



(注) 2017/3期連結ベース



生産・販売ともにグローバルに展開



特徴 海外補修用市場でブランド確立

海外市場

年間走行距離も長く、クルマは壊れることが当たり前
 簡単な部品交換はDIY（自分で修理する）ユーザーも少なくない
 道路や水質など使用環境の苛酷な途上国では交換需要はさらに増加
 日本車は完成車メーカーの海外展開と中古車輸出で増加



いち早く海外市場へ目を向け市場を開拓・ブランド確立



海外顧客向け弊社"News Letter"

【参考】 補修用部品の交換需要関連データ

	乗用車 保有台数 (万台)	年平均 走行距離 (km)	車齢10年 を超える 保有数	平均車齢 (年)
日本	4,206	9,896	13%	5.84
米国	18,319	18,870	40%	8.30
フランス	2,748	14,100	30%	7.50

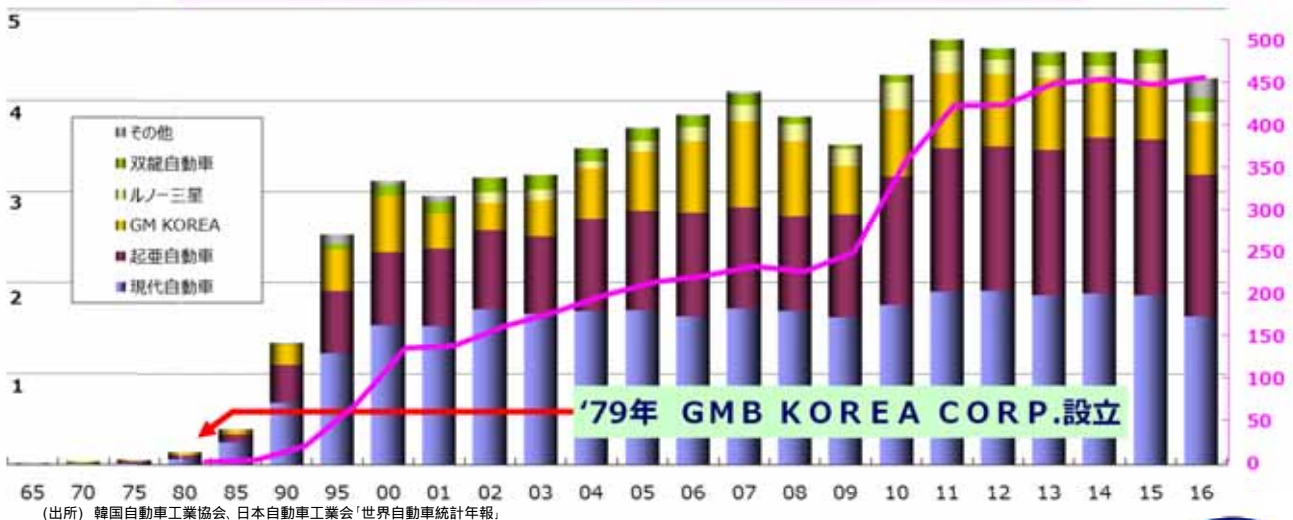
2002年3月JETRO「対日アクセス東郷調査報告書（補修用自動車部品）」より



特徴 現代・起亜自動車とのつながり

- 韓国自動車黎明期の1979年に進出し国産化に貢献
- 現代自動車グループへの売上高比率35%（17年3月期）
- 韓国車は米国・新興国を中心に海外市場で販売拡大

(単位：百万台) 韓国自動車生産台数(棒グラフ)とGMB KOREA CORP.の売上高(折れ線グラフ)の推移 (単位：10億W)



(出所) 韓国自動車工業協会、日本自動車工業会「世界自動車統計年報」

